

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年5月20日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 5人（内訳：当事者0名、家族4名、専門職1名）

2回目 7人（内訳：当事者2名、家族4名、専門職1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

平年より8日遅れで梅雨入りしたばかりでしたが、雨が降ることもなく10名の参加者が集いました。近況報告の中では、新型コロナが今月から5類に移行して、世の中の緩和ムードに不安の声も聞かれました。5/21に宮古島で「若年性認知症の家族会」の立ち上げがあること、本島でも家族会立ち上げに向けての動きがあることを報告。参加者からは「本島にも出来るといいね」と期待の声が聞かれました。

5. 所感

以前は自転車で出かけていた当事者が、道迷いがあり出かなくなりましたが、今は健康維持の為に自宅で壁当てをしている（以前、社会人草野球チーム所属歴あり）との話がありました。Dシリーズという全日本認知症ソフトボール大会が年に一回静岡県で開催される話題から、他の参加者からも「ソフトボールチームを作り、練習や試合参加などをしてみたいね」との声があがりました。それまで無口だった当事者が、表情が輝いて「やってみようか」と返答しました。出来なくなった事だけではなく、今現在出来る事を取り上げて前向きな話が広がった事は、お互いを認め合い励ましあえるカフェならではの一場面だと感じました。今回のスイーツはバイクドチーズケーキとサーターアンダギーでした(^_^)



以上